

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：歯科検診事業の拡大に向けて～難病の早期診断における歯科の役割～</p>
<p>2. 申請者名：トヨタ記念病院 歯科口腔外科 町田純一郎</p>
<p>3. 実施組織：トヨタ記念病院 歯科口腔外科</p> <p style="padding-left: 40px;">豊田加茂歯科医師会</p> <p style="padding-left: 40px;">愛知学院大学歯学部 顎顔面外科学講座</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>口腔と全身の関わりが明らかになる中で、歯科医療と医科との緊密な連携は国民の健康に大きく貢献しつつある。低ホスファターゼ症はアルカリホスファターゼ遺伝子の異常により、骨の石灰化や呼吸障害をきたす遺伝性疾患である。その重症度により、歯限局型、小児型、乳児型、成人型、周産期型に分類されている。近年早期から酵素補充療法を行うことで、患者の長期予後のみならず QOL の改善につながることが報告され注目されている。特記すべきは、すべての病態で乳歯の早期脱落が指摘されており、臨床診断を行う上で医科（小児科や整形外科）から歯科への対診を求められる場合も少なくない。そこで、豊田市における集団歯科健康診査において、乳歯早期脱落のスクリーニング事業の可能性を検証し、早期の確定診断に結びつける医科歯科連携事業を進めることとした。本事業では次の3点が期待される。（1）本症の早期発見、早期治療介入。（2）医科歯科連携の新しい道筋を示す。（3）歯科検診事業の拡大を図る。</p> <p>本年度は、令和2年度の豊田市における1歳6か月児健康診査、ならびに3歳児健康診査で乳歯の早期脱落を検診項目に入れる準備期間としている。</p>
<p>5. 事業の内容</p> <p>実務者会議を行い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度4月より1歳6か月児健康診査、ならびに3歳児健康診査より「乳歯の早期脱落」を健診項目とすることを確認。 ・1歳6か月児健康診査表、ならびに3歳児健康診査健診表で乳歯早期脱落の表記方法、手順について確認した。 ・乳歯の早期脱落症例に対して、早期治療開始を目指し、小児科への紹介体制を確立する道筋を立てた。 ・遺伝性疾患であるため、認定遺伝カウンセラーによるカウンセリング体制を確認した。 <p>しかしながら、新型コロナウイルスの影響で年度末の会議が中止となり、健康診査も延期となっている。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）</p> <p>低ホスファターゼ症は、骨の形成に必要なアルカリホスファターゼ酵素が少ないことで発症する遺伝性疾患ある（難病情報センター；https://www.nanbyou.or.jp/entry/4564）。日本において重症型は、15万人に1人と稀な疾患であるが、乳児型や小児型など軽いタイプも含めると、その頻度は約5万人に1人と考えられている（Ozono K et al; J Hum Genet Mar;56(3):174-6. 2011）。興味深いことに重症度に関わらず多くの症例で、4歳までに乳歯早期脱落を示すことが指摘されていることから、歯科から医科へ治療の橋渡しできる疾患である。本事業では、1歳6か月児健康診査、ならびに3歳児健康診査において本症の拾い上げを行い、早期に治療へ結びつける事を目的とした。一連の実務者会議で運営方法、評価法、医科への紹介方法について検討し、2020年度の実施に道筋をつけることが出来た。</p> <p>今後の課題としては、新型コロナウイルスの影響で年度末の会議が中止となり、健康診査も延期となっている。収束後には早期に事業の再開を図りたい。</p>